

会 議 録

会議の名称	令和元年度第1回清須市健康づくり推進協議会
開催日時	令和元年7月24日(水) 午後2時～午後3時30分
開催場所	清須市役所南館3階大会議室
議 題	1. あいさつ 2. 委員の紹介 3. 協議 (1)健康日本21清須計画(第2次)・清須市自殺対策計画の推進について (2)清須市保健事業 (3)その他
会議資料	会議次第 令和元年度第1回清須市健康づくり推進協議会名簿 令和元年度第1回清須市健康づくり推進協議会配席図 資料1 健康づくり推進協議会設置要綱 資料2 健康日本21清須計画(第2次)・清須市自殺対策計画推進の概要 資料3 健康日本21清須計画(第2次)・清須市自殺対策計画推進の啓発方法 資料4 ①～③清須市保健事業
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
出席委員	鬼頭委員、加藤委員、宮田委員、時田委員、山内委員、住田委員、西谷委員、佐橋委員、高山委員、鳥谷委員、波多野委員、中村委員、片山委員、子安委員
欠席委員	中川委員
事務局	河口部長 〔健康推進課〕佐古次長兼課長、米沢課長補佐、高木係長、坂下係長、舟橋係長、本田主任主査 〔高齢福祉課〕幸村係長
会議の経過 《要旨》	1. あいさつ 2. 委員の紹介 3. 協議 (1)健康日本21清須計画(第2次)・清須市自殺対策計画の推進について(資料2、資料3) (2)清須市保健事業(資料4-①～③) (3)その他 鬼頭会長：ただいま事務局から健康日本21清須計画(第2次)中間評価と清須市自殺対策計画の概要、啓発方法、保健事業等について説明がありましたが、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

片山委員：資料2、たばこの影響を理解しようの喫煙率の減少、男性では目標が19.7%になっていますが間違いではないでしょうか。

事務局：片山委員の言われたとおり、19.7%は誤りで、正しい数は17%以下です。

加藤副会長：COPDの普及啓発はどんなことをやっていますか。

事務局：妊娠期から妊娠届出時のアンケートをもとに、禁煙の保健指導を実施しています。

加藤副会長：禁煙と健康マイレージ事業の取り組みについて教えてください。

事務局：マイレージ事業は健康づくりの推進とインセンティブ事業を併せた事業です。健康づくりでポイントのため、県内の協力店舗で割引などの特典を受けられるまいかカードがもらえるもので、ポイント達成項目の一つに禁煙があります。

加藤副会長：職域での出前講座について教えてください。

事務局：保健所と連携し、地域の中小企業に出前講座を実施しています。中小企業では若い世代の喫煙者が多く、禁煙の内容で実施したこともあります。

中村委員：事業所においても全面禁煙をすすめ、健康経営の観点でも取組んでいきたいと考えています。喫煙場所は屋外で、以前の半分以下にしました。毎月、禁煙に関する情報提供を喫煙場所に掲示したり、本社からの喫煙に関する情報提供をしています。重工けんぼとコラボしてオンライン禁煙プログラムで禁煙補助薬を出す、という取り組みをしており、労働安全衛生委員会や健康教育を通じ進めています。加熱式たばこも喫煙の一つととらえ有害であることを啓発しています。

加藤副会長：加熱式たばこは喫煙です。減らそうと思って併用しても、逆にたばこの害が倍増するデータも出ています。

佐橋委員：日本たばこが商工会へ、加熱式たばこの宣伝に来ました。最近加熱式たばこへ移行される方が多いと聞きました、女性や赤ちゃんなど周りの方への影響が少ないと聞いています。

加藤副会長：2020オリンピックに向け、厚生労働省や呼吸器学会は分煙をすすめます。

鬼頭会長：4か月児のいる家庭での喫煙者のいる割合が32.7%を20%以下にするという目標ですが、母子保健推進員の波多野さん、いかがでしょうか。

波多野委員：喫煙については折に触れて特に授乳中のお母さん、小さなお子さんのいる家庭ではお言葉をそえられるといいな、と思っております。

鬼頭会長：地域で子どもたちを見守っていただいている、PTA代表の住田委員、いかがでしょうか。

住田委員：孫を連れてお店に行くと、なるべくたばこの煙から避けようと思うのですが、入り口付近に喫煙所があります。私が子育てをしていた頃、小さい子の目線の高さで、たばこが向いているため火傷を経験したことがあり、20年以上たっても変わらないな、危険だな、と思います。中学生のアンケートで家族の中でたばこを吸っている人がいるか、を聞いていても、そこからさらに深めて取組んでいないのが現状です。

鬼頭会長：清須市に女性の循環器疾患の死亡が多いことも計画の中でありましたが、食生活、主には減塩などに取組んでいらっしゃる食生活改善推進員の高山委員、いかがでしょうか。

高山委員：野菜の摂取や、減塩を主として活動しています。塩分はなかなか減りません。愛知県は、野菜の生産は日本一なのに、食べる方は少ない不思議な状況です。

鬼頭会長：女性の健康づくりの立場から、女性の会の西谷委員、いかがでしょうか。

西谷委員：タバコを吸っている家族がいますが、それがないと落ち着かないようで、減ら

す努力はしても、仕事のストレスもあり難しいようです。

減塩は若い世帯と同居しているので、なかなか難しいです。慣れ親しんだ味が濃いとそれがしみついていくようです。孫は薄味だと「もっと醤油や砂糖を入れて」といいます。おばあちゃんの私がけんかにならない程度に話しています。女性の会で、食育に取り組んでいる方がいらっしゃるので減塩について勉強をしています。1人の力では解決できないですが、少しずつ皆さんで改善していけたらと思います。

鬼頭会長：地域の健康づくりとして運動教室のご指導をいただいている鳥谷委員いかがでしょうか。

鳥谷委員：市民の皆さんが地域に出てきてくれればいいが、地域に会場が少なく、会場までの足がない、自転車で行けない、という状況です。なるべく近くの会場がもっと多くあれば出て行けるのに、という状況です。

鬼頭会長：地域の高齢者の立場で山内委員いかがでしょうか。

山内委員：私は市の“いこまいか”教室に積極的に参加しています。無理なく身体を動かしおしゃべりを楽しんでいます。近くにあっても行かない人は行かない、遠くてもタクシーに乗って行く人もいます。ピンピンコロリを維持し、「あっ逝っちゃったか」くらいがいいと思っています。

鬼頭会長：心の健康の支援について、社会福祉協議会の時田委員、いかがでしょうか。

時田委員：社会福祉協議会で行っている事業は生活困窮者事業、こころの相談事業、法律相談、などをやっています。自殺対策については、清須市には自殺をする人がこんなにいるとは、と思いました。目標値は10.1以下となっているが本来は0、もっと下げても良いのではないのでしょうか。社会福祉協議会は行政と連携しやれることをやっていきたいです。

鬼頭会長：薬を通して様々なサポートをされている薬剤師の宮田委員、いかがでしょうか。

宮田委員：複数の医療機関にかかられている場合、どんな薬を飲んでいるか理解していない方もあります。薬剤師会ではお薬手帳の活用を推奨しています。薬剤の重複やのみ合せ等をチェックをしますが、お薬手帳があると、旅先や災害で病院にかかるときも命を救えることが出来ることもあります。今後もお薬手帳については啓蒙していきたいです。

鬼頭会長：では最後に清須保健所長の子安委員、ご助言をお願いします。

子安委員：行政の施策で数値目標を減らすというのは難しいと思われれます。全庁をあげてそれぞれの仕事を丁寧にすることが回りまわって自殺対策につながります。たばこ対策では令和元年7月1日に施行し、周知徹底を図っていく必要があります。

市民から「法律を守ってほしい」との声があれば保健所としても指導していく必要があります。

風しんについては、妊娠中に罹患すると先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれ、先天性心疾患や聾が主な症状としてあります。ウイルスにはウイルス親和性というのがあり、ウイルスが好む臓器があり、風しんウイルスは赤ちゃんの心臓や耳、肝炎ウイルスは肝臓、インフルエンザは脳炎となっています。健康づくりを勉強している方は周りにもお伝えしてください。

風しんについては、保健所も市と協力して啓発していきます。

鬼頭会長：ありがとうございました。

5. その他

- ・健康づくりをみんなで考える会・ゲートキーパー講座の案内
- ・相談啓発カード「1人で悩んでいませんか～あなたの悩みを一緒に考えます～」

事務局：次回は、1月29日（水）14時からの開催を予定しています。

本日は、長時間にわたりご審議を賜りまして、ありがとうございました。
以上で終了とさせていただきます。

会議の結果	会議の経過に示したとおり
問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 電話 052-400-2911 内線2112

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

署名委員 高山 瑛子 ㊞

署名委員 波多野 眞純 ㊞